

3年前期 国語 評価の内容

知識・技能	・文章全体の構成や内容の大体を理解しながら音読できること。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語の数、文や文章の中で使えること。 ・国語辞典の使い方を理解し、使うこと。 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使えること。 ・第3学年までに配当されている漢字を読めること。 ・段落の役割について理解できること。 ・全体と中心など情報と情報との関係について理解できること。 ・改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。 ・毛筆で書くときの姿勢、筆の持ち方、横画・縦画の書き方を理解できること。
思考・判断・表現	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 ・説明文では、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 ・物語文では、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景についてなどを、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ・相手や目的を意識して、書くことを選び、内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えて書くこと。 ・毛筆では、横画、縦画の書き方を確かめながら書くこと。
主体的に学習に取り組む態度	・積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識しながら、学習課題に沿って、音読すること。 ・国語辞典の使い方を理解し、活用しようとする事。 ・今までの学習を生かして、継続的に漢字を学ぼうとしていること。 ・段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って、読んで考えたことを文章にまとめようとする事。 ・伝えたいことや内容の中心を明確にして文章構成を考え、相手や目的を意識し、丁寧な言葉を使って工夫して文章を書こうとする事。 ・登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って感想をまとめようとする事。 ・毛筆用具の準備の仕方と片付け方、正しい姿勢を理解し、学習の見通しをもって取り組もうとする事。

3年前期 社会 評価の内容

知識・技能	・学校のまわりの様子について地図を見て、地形や土地利用などについて理解できること。 ・清瀬市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて地図などの資料を読み取れること。 ・調べたことを白地図や文などにまとめ、市の様子を理解できること。 ・農家の仕事について、見学したり、地図や資料を読み取ったりして調べ、農家の工夫や思いを理解できること。
思考・判断・表現	・学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所や古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見いだし、身近な地域の様子について考え表現すること。 ・清瀬市について、都道府県内における市の位置や、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見い出し、清瀬市の様子について考え表現すること。 ・農家の人々が、仕事の工程や施設の工夫などにより、おいしく安全な農産物を生産していることについて考え、文章で表現したり、話し合ったりすること。
主体的に学習に取り組む態度	・学校のまわりの様子について、予想したり、主体的に調べようとしたり学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとする事。 ・清瀬市の様子について、予想したり、主体的に調べようとしたり学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとする事。 ・調べたことを白地図や文などに粘り強くまとめようとする事。 ・学校のまわりや清瀬市の様子、販売の様子について、すすんで調べ学習に取り組もうとする事。 ・農家の仕事について、清瀬の野菜づくりのよさを感じ、自分の生活との関わりについて考えようとする事。

3 年前期 算数 評価の内容

知識・技能	・かけ算はかけられる数を2倍すると、積も2倍になることやかけ算の決まり ($3 \times 4 = 4 \times 3$ など) を理解すること。また、それらを活用して計算をすることができること。 ・「秒」の単位が分かり、「分」や「時間」の単位との関係を理解すること。計算で時刻や時間をもとめることができること。 ・わり算は九九を使って答えが求められることを知り、わり算の計算ができること。 ・3～4けたの整数のたし算やひき算は、2けた～1けたの整数の計算を基にしてできていることを理解し、それらの計算ができること。 ・長さの単位 (km) を理解すること。巻き尺での測定の仕方を理解すること。長さを適切な単位で表したり、測定したりできること。 ・日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して、表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができること。 ・2けたの整数どうしのたし算やひき算を暗算で計算ができること。 ・わり切れない場合のわり算の計算について理解し、それらを活用して数量の関係を捉えられること。
思考・判断・表現	・かけ算はかけられる数を2倍すると積も2倍になることや、かけ算の決まり ($3 \times 4 = 4 \times 3$ など) に着目し、九九の範囲を超えるかけ算の計算方法を、図や式などを用いて考え、表現すること。 ・時間の単位 (時間、分、秒) に着目し、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明すること。 ・問題場面の数量に着目し、その関係をわり算として捉えるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え、説明すること。 ・位ごとの数に着目し、今までの筆算の仕方を活用して3～4けたの整数のたし算やひき算の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方をまとめること。 ・身の回りのものの長さを巻き尺や物差しを使って測定し、またkmやその他の長さの単位を使って適切な長さの表し方や単位の間隔を説明すること。 ・目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明していること。 ・100-79は、101-80という数に工夫できることなどに着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、説明できること。 ・わりきれの場合とわり切れない場合のわり算の仕方を具体物や図、式などを用いて説明すること。
主体的に学習に取り組む態度	・九九の範囲を超えるかけ算 (3×10 や 3×11 など) の計算について、図や式などを用いて考えたことを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・時刻や時間に関心をもち、時間の計算でも数直線で答えを求められることのよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・わり算の意味や計算の方法について、九九を使って求められるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・3～4けたの整数のたし算やひき算の筆算に粘り強く取り組み、数が大きくなってもこれまでと同じ筆算でできるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・身の回りのものの長さの単位を用いて表したり、測ったりしたことを振り返り、今後の生活に生かそうとしていること。 ・データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事象について考察したりした過程を振り返り、数理的なよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・2けたの整数どうしのたし算やひき算を暗算で計算したことを振り返り、日常での暗算のよさを振り返り、学習に生かそうとしていること。 ・余りのあるわり算に粘り強く取り組み、九九を用いて計算できることに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。

3年前期 理科 評価の内容

知識・技能	・昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解できること。 ・植物について、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録できること。 ・植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解できること。 ・風やゴムの力は、物を動かすことができること、また、風やゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解できること。
思考・判断・表現	・生物と環境との関わりや昆虫の成長の決まり、からだのつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決すること。 ・植物の成長の決まりやからだのつくりについて、観察を行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決すること。 ・風とゴムの力の働きについて、実験を行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決すること。
主体的に学習に取り組む態度	・昆虫の成長の様子やからだのつくりについて、すすんで観察したり調べ学習をしたりし、友達と関わりながら問題解決しようとする。 ・植物の成長の様子やからだのつくりについて、粘り強く観察したり調べ学習をしたりし、友達と関わりながら問題解決しようとする。 ・風とゴムの力の働きについて、すすんで実験し、粘り強く記録を取り問題解決しようとする。

3年前期 音楽 評価の内容

知識・技能	・リコーダーを、音色や響きに気を付けて、演奏できること。 ・「春の小川」や「茶つみ」などの旋律がもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容などの関わりに気付くこと。 ・声の音色や強弱を工夫し、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けること。
思考・判断・表現	・リコーダーの演奏で、知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。 ・「リコーダーは歌う」などの鑑賞曲で、リコーダーの音色や、曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リコーダーの演奏のよさを見い出して聴くこと。 ・「この山光る」の旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す良さと美しさを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっていること。
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで音楽に関わり、共に学びながら音楽活動をする楽しさを感じる。 ・様々な音楽に親しむとともに、授業での経験を生かして生活を明るく豊かなものにしようとする。 ・「ドレミの歌」や「キラキラおひさま」などの、ドレミを読む活動や、輪唱による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。

3年前期 図工 評価の内容

知識・技能	・表したいことに合わせて材料（画用紙、粘土、木材、ビニール素材、段ボールなど）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、のり、木工用接着剤など）を適切に扱うことができること。 ・前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくることができること。 ・絵や立体に表す活動を通して、形や色、組み合わせの印象を捉えることができること。 ・材料に関わりながら、材料を組み合わせたり切ってつないだり、形をかえたりするなどして、工夫してつくることができること。
思考・判断・表現	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことなどの自分のイメージを基に、表したいことを見付けること。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えること。 ・自分たちの作品や、身近な美術作品などの面白さやいろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組むこと。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら、思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、選んだ材料の特性から、思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで楽しく想像し、粘土でつくる学習活動に取り組もうとしていること。 ・表したいことに合わせて、適切な材料や用具を選ぼうとしていること。

3 年前期 体育 評価の内容

知識・技能	・体づくり運動では、体のバランスや移動、用具の操作とともに、それらを組み合わせた基本的な運動ができること。 ・マット運動では、前転、後転、側方倒立回転などの技の行い方を知るとともに、自分の力に合った技ができること。 ・かけっこでは、スタート姿勢から素早く走り出し、最後まで全力で走ることができること。 ・ネット型ゲームで、片手や両手ではじいて自陣の味方にパスをしたり相手コートに返したりできること。 ・「健康な生活」をおくるためには、1 日の生活の仕方や環境要因が関わっていることについて、理解すること。
思考・判断・表現	・手軽な運動や、リズム的な運動を通して、運動をすると体も心も弾むことや、体の力を抜くと気持ちがよいこと等を理解すること。 ・マット運動では、技の出来栄を確認して自己に適した課題を見付けること。 ・かけっこでは、スタートのポイントなどを学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりすること。 ・ネット型ゲームで、友達と関わりながら、教え合って高めたり、ポジションや相手への返し方などの簡単な作戦を立てたりすること。 ・友達のよい動きのポイントなど、課題の解決のために見付けたり、気付いたりしたことを動作や言葉などで友達に伝えること。 ・「健康な生活」について、自ら課題を見付け、解決に向けて考え、表現すること。
主体的に学習に取り組む態度	・運動の特性にふれ、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、すすんで取り組もうとすること。 ・それぞれの運動のよさに気付き、粘り強く取り組むこと。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合って運動すること。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にすること。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりして運動すること。 ・活動の場の用具や活動する場の安全を確かめること。 ・勝敗を受け入れていること。 ・ゲームの反省点、改善点をチームでの話合いや練習を通して、次のゲームに活かそうとしていること。 ・友達と教え合ったり、見合ったりして練習し、互いのめあての達成を喜び合おうとすること。 ・「健康な生活」に関心をもち、自分の生活をよりよくしようとすること。